



夜間・休日の診療体制の一部変更のお知らせ

「24時間戦えますか!？」

テレビCMでこんなフレーズをよく耳にしたのは、どのくらい前の頃だったのでしょうか？時代は変わり、現代では「働き方改革」が進んでいます。

日本人の国民性か、また歴史的背景もあってか、休まず長く働くことが美德とされがちです。医療者は特にその傾向があります。医療者自身もそうですし、医療者に対する社会の認識も・・・どうでしょうか？しかし、当然ながら医療者も普通の人間です。夜は寝ないと翌日働けませんし、時にはまとまった休息をとらないと心身が疲弊してしまいます。労働時間が一定の水準を超えると、脳卒中や心筋梗塞などの病気のリスクが高くなることが明らかになっています。事実、私の過去の職場の上司(救急医)が、若くして脳卒中で命を落としました。その世代の医師にありがちな、休まず働くことを厭わない人でした。葬儀では、奥様と並んで幼い息子さんが挨拶をしていました。父親の死を理解できるかどうかくらいの歳だと思います。小中学生の2人の息子を持つ私としては、胸が張り裂ける思いでした。

これは、救急医学会が出したポスターです。救急医に限らず、在宅医も含め、医師・医療者全員に当てはまることです。乗客の命を預かるパイロットや運転士に不健康や睡眠不足が許されないのと同様、患者さんの命を支える私たちも、自身の健康を維持する義務があります。“頑張りどころ”では一時的に少々の無理はしますが、慢性的な働き過ぎは避けなければなりません。

私たち医師・医療者が疲弊することなく、患者さんのために質の高い医療を継続して提供できるよう、当院の診療体制を一部変更します。外部のネットワークと連携し、**夜間・休日往診の一部を非常勤医師が行います。**(詳細は次ページ)

当院として初めての取組みとなりますが、在宅医療の普及・発展につながる前向きなステップとも認識しています。ご理解をお願い致します。

(院長 ニノ坂 建史)

人を救うには、まず自分が健康でなければならぬ。

そうでないと、判断を誤る。スタッフが迷う。
家族が心配する。自分を責める。
もしもキミが救急医になるのなら
まず自分のことを最優先に考えて欲しい。
それを非難する人がいるならば、
私たちが引き受ける。
高齢化は進む。医師は足りない。
だからこそ救急医が健康であること。
これは義務だ。

日本救急医学会

働き方改革アクションプラン

1. 救急医学会に労務管理に係る委員会を設置
2. 労務管理に関する救急科領域講習と管理者向け講習の実施
3. 施設間相互訪問評価の実施
4. 救命救急センター充実度評価項目に労務管理の追加を要望
5. 救急科に係わる診療看護師育成を推進
6. 救急救命士制度のタスク・シフティングに関する議論を推進

jaam.jp/actionplan



夜間・休日の診療体制の一部変更のお知らせ ※1面より続き

●変更点

夜間・休日の一部で、夜間・休日のみ勤務の非常勤医師が往診します。

平時の診療の情報は電子カルテで共有していますが、ご病気のことや方針・ご希望の確認のために質問させて頂くことがあります。ご協力をお願いします。

●緊急連絡先電話番号は変更ありません。(当院の看護師または医師が24時間対応します)

日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会 in 仙台開催のお知らせ

10/28(土)・10/29(日) 仙台市戦災復興記念館

今年の大会テーマは

**おらあ、ここで最期までいぎてえ
ー“情げぶけえ”コミュニティをめざしてー**

大会プログラム・事前参加登録等詳細は大会のホームページを是非ご覧ください。
<https://jshh.jimdosite.com>



<大会長挨拶>

日本ホスピス・在宅ケア研究会は、がん、認知症や難病などによる終末期のあらゆる諸像にも焦点をあて、在宅ケアや高齢者の介護問題など、市民にとって切実な問題の解決に取り組み、提言します。医療に関係する倫理的問題についても研究、提言しています。

特定の思想・信条・権威に偏らず、集う人々の多様で自由な発想に基づいて運営しており、医療専門職はもとより、介護職・患者・市民・教育者・メディア・宗教家・関連分野の研究者など、全国の様々な立場の方々が参加しています。この目的に賛同する地域において、日々の活動の発展のためネットワーク作りなどのために、年1回全国規模の研究大会を開催しています。

ホスピス・在宅ケアの世界的な流れの中では、compassionate community という言葉がキーワードになっていますが、今回はこの言葉を“情げぶけえ”コミュニティと表現してみました。情のあつい地域、繋がりあう地域ということは、専門職中心のコミュニティではなく、市民中心の、当事者中心のコミュニティ、一人一人を大切にす地域を目指すということです。

死を避けることができないのであれば、せめて安楽に、なるべく嫌な思いをしないように、自分のわがままを通すことができるように、ささやかでも幸せな時間を過ごせるように、準備することもできます。そのような準備には、死を迎える本人だけでなく、家族、友人、専門職やボランティアなど、さまざまな人の存在や社会の仕組みを知ることが必要です。人生の最期の数年間、数ヶ月間を、どこで、誰と、どのように、生きていくのか。そして、どのようにして、助け合って、幸せに、過ごしていくのか、みなさんと一緒に考え、実現できる社会を目指しています。

会場の仙台市戦災復興記念館は、太平洋戦争で空襲を受けた仙台市の復興を記録してきた施設でもあり、昨年12月にリニューアル工事を終えたばかりの「平和の殿堂」です。空襲、震災、コロナといった災害からの復興を祈念するに相応しい場所だと思います。対面での開催に加えて、後日オンデマンド配信でも各企画を視聴することができます。多くの参加者をお迎えし、充実した企画を実施できるよう、ぜひともご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

仙台大会 大会長 谷山 洋三

【メイン企画】(通訳付き)

Compassionate Communityについて熱く語って頂ける海外ゲスト

「コンパッション都市」提唱者

アラン・ケレハー博士 (米国バーモント大学臨床教授)

エマ・ホッジズ博士

(Compassionate Communities UKの開発担当理事)



アラン・ケレハー



エマ・ホッジズ

【メインシンポジウム】

東日本大震災から12年 ～未来に向けて伝えたいこと～

パネリスト

坂口 奈央 (岩手大学 准教授)

北村 暁秀 (曹洞宗法山寺 住職)

嶋原 さとこ (NPO虹色たんぽぽ 代表)

鈴木 聡 (石巻赤十字病院 副院長)



いとうせいこう
(作家)

対談



瀬尾夏美
(アーティスト)

【特別シンポジウム】

2023みやぎから 未来へつなぐ 想いを見つめて
～地域とともに歩む医師たちの勇気と決意～

奥野 修司 (ジャーナリスト)

川村 雄次 (NHKディレクター)

三浦 正悦 (穂波の郷クリニック 医師)

【市民公開講座】(参加費無料・要申込み)

生きる力を引き出す～ホームホスピス～

市原 美穂 (全国ホームホスピス協会 代表)

今野 まゆみ (ホームホスピスにじいろのいえ 代表)

千葉 明日香 (仙台往診クリニック 副院長)

古林 俊晃 (認定臨床宗教師)

※メイン会場以外にも、各会場で様々な企画が行われます。(下記スケジュール参照)

【タイムスケジュール】

※10/28(土)13:20～13:30に当院看護師が口演発表します。

「地域の力 思いやりのある地域を育てる ～にのさかクリニックの取り組み～」

10月28日(土)

	2階	地下	5階			4階			
	記念ホール	展示ホール	5F会議室	和室1/2	和室3	研修室	第1会議室	第2会議室	第3会議室
1230	開会式	※開会式 12:30～12:50							
1300	大会長講演	※大会長講演 13:00～13:15 記念ホール 中継	市民部会 13:00～15:00	ボランティア 部会（カラフル カフェ） 13:00～17:10	暮らしの 保健室 13:00～17:10	被災者支援 ネット ワーク事業 13:00～15:00	若者が考える CC 13:00～14:30	ACP 13:00～15:00	口演発表
1400	特別シンポ 13:20～15:00								
1500	基調講演 15:10～17:40		排泄ケア 15:10～17:10			口演発表	音楽療法 15:10～17:10	リハビリ 15:10～17:10	
1600									
1700									

10月29日(日)

	2階	地下	5階			4階			
	記念ホール	展示ホール	5F会議室	和室1/2	和室3	研修室	第1会議室	第2会議室	第3会議室
930	メイン シンポ 9:30～12:30	CCワーク ショップ 9:30～12:30	コロナ禍の 面会制限 9:30～11:30	在宅 あるある 9:30～11:30	暮らしの 保健室 9:30～15:50	グリーフ ケア部会 9:30～11:30	こども ホスピス 9:30～11:00	世界緩和 ケアデー 9:30～11:30	口演発表
1000									
1100			ソーシャル ワーカー 11:40～13:40			臨床宗教師 11:40～13:10	アドラー 心理学 11:40～13:10		
1200									
1300									
1400	市民公開 講座 13:50～15:50	コミュニティ ケア部会 13:50～15:50	スピリ チュアル ケア部会 13:50～15:50	死生学 カフェ 13:20～15:20		食支援 13:50～15:50	看取り知識 13:50～15:50	認知症 ケア部会 13:50～15:50	口演発表
1500									
1600								閉会式	

Event 催し物・イベントのご案内



受講生募集



在宅ホスピスボランティア養成講座 in 福岡市早良区 開催決定

在宅ホスピスチームの一員として療養中のご家庭を訪問し、お話し相手やお留守番・見守りなどを行うホスピスボランティア。地域で暮らす同じ生活者として患者さん・ご家族に寄り添います。

講座では、在宅医・看護師、弁護士など多彩な講師陣と共に学びます。当院に申込用紙を準備していますので、受講を希望される方はお声かけください。

会場：カフェマーノマーノ
(福岡市早良区野芥2丁目48-13)

時間：各回13:30～16:30

定員：15名(無料・福岡県在住の方が対象)
※応募者が多数の場合は書類選考となります。

養成講座カリキュラム

第1回 10月 7日(土)

- ・在宅ホスピスについて
- ・在宅ホスピスボランティアについて

第2回 10月14日(土)

- ・在宅ホスピスボランティアの実際
- ・もしバナゲーム

第3回 11月11日(土)

- ・症状緩和と薬の理解
- ・ボランティアと法律

第4回 11月25日(土)

- ・介護実習 ※会場：ふくふくプラザ

第5回 12月 9日(土)

- ・在宅ケアの社会資源
- ・コミュニケーションの取り方

<福岡県委託事業>



クリニックからのお願い



新型コロナウイルス感染症対策 ～発熱時の受診について～

発熱もしくは風邪症状のある方は

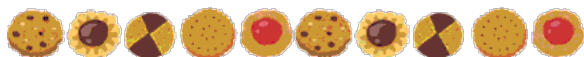
お車の中で待機していただくか

こちらが指定した時間に

受診していただくことで

発熱や風邪症状のある方との接触を

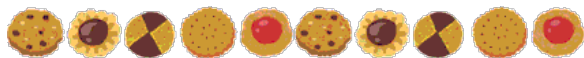
できる限り避けるようにしています



発熱または風邪症状のある方は
まずはお電話にてご相談ください
受診できる時間や受診する方法について
ご案内いたします

にのさかクリニック
☎ 092-872-1136

症状や経過によっては、
他の医療機関へ受診をお願いする場合があります



**定期の受診、その他の症状で受診される方は
できるだけ12時までの受診をおすすめします**

皆様のご理解とご協力をお願いいたします

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00	午前	外来診療		訪問診療	外来診療		
13:00		昼休み	健康教室		昼休み		休診
14:00	午後	訪問診療			訪問診療		
17~18:00		※外来診療			※外来診療		

※ 午後5:00～6:00の外来診療は、訪問診療の都合により診療開始時間が遅れる場合や診療ができない場合がございます。診察をご希望の方は、事前にお電話いただくと幸いです。

※ 健康教室はしばらくのあいだおやすみします。